

新しい年を迎えました。来たる天暦1月13日(2014年2月12日)の基元節1周年に向けて、さらに2020年に向けた新しい出発として、4つの天の願いについてお伝えします。

(1) 私たちは内外共に生まれ変わって再出発する必要があります。そのために、天の父母様と真の父母様に完全につながることで、信仰の原点に返るため、深い祈りと天一国経典『天聖經』の訓読を通して天に深く連結することが大切な心構えだと思えます。

(2) 教会の発展はリーダーの成長に懸かっているということです。個人の成長が家庭の成長につながり、ひいては教会全体の発展を決定します。リーダーたちが成長し、豊かな愛にあふれて兄弟姉妹を大切に、み言に通ずる牧会力、指導力を向上させることで、その発展が期待できるのです。氏族的メンヤの観点においては、全祝福家庭が氏族全体のリーダーの立場にあると言えます。

(3) 具体的な方向性として7項目のポイントを紹介します。

① 伝道の爆発的な勝利です。昨年、新規イベントをはじめ、讚美礼拝、ファミリーフェスティバル、大母様の行事などが展開されました。特に印象に残る行事が、西北東京教区での書写大会でした。「自叙伝」を通して父母様を知り、書写を通してみ言の素晴らしさも理解する参加者として、新規400人を含む1500人が集まり、「書写伝道」に手応えを実感しました。

② 今まで以上に二世圏に投入することです。多くの二世たちが信仰をもち、祝福へと進んでいますが、様々な事情のゆえに教会につながらず、信仰をもち得なかつたり、祝福に至らない二世がいることも事実です。国民の伝道と同時に祝福家庭の二世を教育し、食口へと導くことが重要です。さらに二世公職者の登場、育成が父母様の切なる願いです。

③ 統一運動の推進する国民運動として、安保セミナーと日韓トンネルプロジェクトがあります。特に、現時点で難しい局面にある日韓関係を打開する上で日韓トンネルは本当に重要です。

④ 真の父母様の生涯博物館プロジェクトが基元節1周年を起点としてスタートします。父母様の生涯の歩み、業績、思想などが展示される博物館です。これは2020年までに成し遂げたい、父母様の悲願のプロジェクトです。

⑤ 現在、全国各地で新しい地方教会が建設されています。昨年は佐賀教会、長野県の伊那教会と上田教会などの建設が着手されました。元結婚式場を新しくした宮崎教会は、ゴージャスで立派です。教会員の血と汗と涙の結晶としての地方教会の建設を推進したいと考えています。

⑥ 真の父母の言葉としての韓国語のマスターです。言葉が通じることで、真の父母様との心情がより通いやすくなります。

⑦ 真の家庭運動を通しての祝福の推進です。世界共通の難問題の一つが家庭崩壊です。親子や夫婦の関係が難しくなり、離婚率が高まり、青少年犯罪も増え、同性愛など、様々な難しい問題が現れています。祝福家庭理想を中心とする統一教会こそが、家庭問題を根本解決できる団体であることに自負心をもち、国民運動のレベルで取り組んでまいりましょう。

(4) 真のお母様との心情一体化を成していくことです。昨年10月に真のお母様が来日され、最後にお母様から「ウリヌンハナダ(私たちは一つだ!)」のサインを頂きました。2014年も、このスローガンのもとに一体となって前進してまいりたいと思います。新年を迎え、真のお母様が下さった年頭標語は「創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する天一国の真の主人になろう」です。この年頭標語に込められた、お母様の決意と心情を尋ね求めながら、2020年までの年頭標語として前進していきます。お母様の心情と一体となり、中心と一つとなって2014年に懸けられた天の願いを勝利してまいりましょう。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
神様と真の御父母様の祝福が共にありますよう。お祈り致します

1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。

2、日本文化講演会

日時:1月29日(水) 10:30~

場所:サン・アカデミー京都

3、京都を愛する書写の会

日時:1月30日(木) 10:30~ ※ 日程変更

場所:京都教会

4、2014年度壮年総会

日時:2月1日(土) 20:00~

場所:京都教会

5、第9地区合同出発式

日時:2月3日(月) 10:30~ 場所:大阪教会

参加対象:牧会者、FB長、区域長以上の責任者、スタッフ

6、天一国二年天の父母様の日

日時:天一国2年天暦1月1日(1月31日(金)) 7:00~

場所:京都教会

7、基元節祝賀総動員特別礼拝

日時:2月9日(日) 10:30~

場所:京都教会

8、基元節1周年記念式及び2014天地人真の父母様天宙祝福式

日時:天一国2年天暦1月13日(2月12日(水)) 10:00~

場所:清心平和ワールドセンター/衛星中継(全世界)

9、京都セミナー(二日修練会)

日程:2月15日(土)・16日(日)、2月22日(土)・23日(日)

場所:サン・アカデミー京都

【1日目】13:30~19:00(13:00受付)

【2日目】10:00~16:00(9:30受付)

10、しあわせ講演会

毎週金曜日 10:30~、14:00~ 場所:サン・アカデミー京都

11、教区全体特別精誠祈禱会

毎週金曜日 21:00~ 場所:京都教会

12、VISION2020勝利の為の基台長及び区域長修練会

日程:2/6(木)~2/11(火)、2/20(木)~2/25(火)

13、清平修練会

2/1(土)~2/3(月)、2/7(金)~2/9(日)

☆ 2月は、霊肉界家庭出発修練会が行われます。

霊肉界家庭出発修練会:2/1(土)~2/3(月)

【年頭標語】

『창조주 하늘부모님을 닮은 참사랑을 실천하는
천일국의 참주인이 되자!』

『創造主 天の父母様に似た 真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう!』



天地人真の父母様に栄光、地には平和!
The First Anniversary of
Foundation Day
天一国基元節 1周年
天一国2年天暦 1月13日(陽暦 2月12日)
天正宮博物館・清心平和ワールドセンター

京都教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Kyoto Church
世界基督教統一神霊協会

教区長: 武藤 努 牧師

京都市右京区西院西高田町 6

Tel: 075-313-0539 / Fax: 075-325-2712

E-mail: son_e2013@angel.ocn.ne.jp

京都HP: <http://www.uckyoto.org/>

式次第



執礼者：武藤努教区長
司会者：佐々木大作

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※開会讃頌 天一国の歌	全 体
※敬 拝	全 体
※家庭盟誓	全 体
代表祈祷	
讃 頌	聖歌隊
み言訓読	全 体
説 教	基元節1周年を迎える精誠	
※讃 頌 聖歌 7 番	全 体
※祝 禱	教区長
※全体祈祷	全 体
教会音信	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

神の国の正式名称は「宇宙平和統一国」即ち天一国です。聖書では、新天新地である神の国(聖都エルサレム)は東西南北の四方に三つの門がある12の真珠門によって表されています(黙21:12-14)。であるがゆえ、その天国の門を開くのに12数が必要です。

その12の真珠門を開く条件が12弟子であり、12人の霊の子女です。神の国を開くために12数が必要です。しかし、神の国を開くだけでなく、打ち立てるためには中心軸が必要であり、主権たる軸が必要です。それを象徴する中心数こそ13数です。

ちなみに、統一マークがこの12数と13数を表現していると言えます。12の門に12弟子が立ち、真ん中に中心たるイエス様が立つことで、これは神の国を導く操舵です。この中心は神を象徴し、12の門が開き、神が中心として立たれているわけです。

ですから、神様の王権は13数を中心に創建されると見ることができます。

それゆえ、神様の主権を立てる重要な日であった神様王権即位式も2001年1月13日であり、天正宮入宮戴冠式も2006年6月13日であり、基元節も2013年天暦1月13日であったと言えるわけです。

1988年のソウルオリンピックを中心に「世界統一国開天日」を発売し、13年目に神様王権即位式を立てられたのです。そして、その年2001年10月3日に「宇宙平和統一国」(天一国)の名称を示され、そこから12年の最後の延長路程のための新しい手帳が使われたのです。

歴史が完成、完結、完了する時に、主権を象徴する中心数13数が定着しなければなりません。ですから、完成・完結・完了をなす2010年の前に、13数定着のために陽暦と陰暦を統一しなければならないのです。

陽暦は閏年で周期のずれを調整しますが、陰暦は1年を13ヶ月とする閏月を持つことにより調整します。陰暦のみ13数があるというのです。そして、その完結である「基元節」は天暦(陰暦)の2013年1月13日に立てられたのです。天国の門は12数で開き、天国の主権は13数をもって立てられるのです。

統一運動

基元節1周年を迎えるにあたっての信仰姿勢とは

2014年天暦1月13日(陽暦 2/12)の「基元節1周年」を迎えるにあたり、教会員がもつべき信仰姿勢について、小山田秀生先生にインタビューしました。その内容を紹介します。

■実体的天一国に向け、父母様の勝利圏相続

初めに「基元節」の出発は何かというと、本来の「エデンの園」を地上に創建することです。

真の父母様は、5人の子女様と2人のお孫様、合わせて7人のお子様を天の摂理のために祭物とされました。そして真のお母様は、真のお父様の伴侶として苦楽を共にされ、万難を排して歩んでくださっています。その勝利的基盤の上に父母様を中心とする摂理的次元の同位権、同居権、同参権を受けるに至ったのです。

私たちが何をすべきかということ、実体的な天一国に向けて、「真の父母の勝利基盤の相続」が最も重要な内容です。そのために、次の4つの使命を果たしていく必要があります。

①真の父母様の伝統の絶対視、み言の訓読

真の父母様の伝統を絶対視、生命視することです。それは愛と心情の伝統です。み言は宇宙の大原則であり、規範となる伝統です。また、規範は人間関係における愛の秩序です。その心情文化の伝統を引き継ぐことが私たちの第一の課題です。そのために、み言の訓読が重要であり、新秩序を立てることになるのです。

②祝福家庭の理想の完成

真の愛と真の生命、真の血統の揺り籠が家庭です。具体的には「家庭盟誓」の8項目をいかに達成するかが課題です。すなわち、天の血統を遵守して純潔を守り、幸福で平和な家庭をつくることです。夫婦間の絶対愛が重要であり、子女を愛し、み言で養育しましょう。

③新氏族的メシヤとして責任を果たす

新氏族的メシヤを通して父母様の勝利圏を相続することです。その使命を果たすことは天宙復帰の完成を意味します。そして、大いなる恩賜と天運を相続することができるのです。

④真の父母様を中心とした心情文化共同体

真の父母様と真の子女様を中心として、和合と統一の心情文化共同体を構築することです。真の父母様と一体となった一大家族心情共同体です。

